

令和6年度中堅教諭等資質向上研修 受講者各位

教科指導法研修会（小・理）に関するご連絡

担当：杉山 雅俊（山梨大学）

9月24日（火）の研修会では、受講者の先生方に取り組んでいただいた理科の授業について、その内容や授業づくりで工夫された点等を発表していただきたいと考えております。

つきましては、以下の記す課題をご準備のうえ、研修会にご参加ください。

【課題】理科における深い学びを実現するための指導の工夫

- 今年度実施の理科のいずれかの単元で授業実践記録をとってください。理科であれば、学年・単元は自由です。今年度、理科を受け持っていない方は、これまでの実践の中で記憶にある取組を記載して発表のご準備をお願いします。
- Word や Pages などの文書作成ソフトを用いて、以下の内容を記した資料を作成してください。枚数はお任せします。
 1. **単元名**
 2. **単元内容に関する学習前の児童の実態**
アンケート等は無理に取る必要はありません。先生の見取りによるもので結構です。
 3. **「深い学び」の具体的な姿の明確化**
理科における深い学びをどのように想定するのか、児童の姿として記述してください。
 4. **単元の目標**
単元を通して育成したい資質・能力も記述してください。
 5. **単元の構想**
評価計画まで組み入れる必要はありません。簡単なもので結構ですので、単元の学習の全体像をまとめてください。
 6. **授業実践記録**
単元のそれぞれの時間に行った①日時、②学習活動、③学習での児童の主な様子について、簡単に良いので表にしてまとめてください。また、深い学びを実現するための手立てもこの項の②に記述してください。
 7. **実践を通じた成果と課題**
単元全体や、ある時間の実践を通して得られた成果と課題についてまとめてください。
- 研修当日は、作成いただいた資料をもとに発表していただきますが、別途プレゼン資料をご準備いただいても構いません。PC（Windows・Mac）はこちらで準備いたします。

当日の予定

- (1) 日付：令和6年9月24日（火）
- (2) 研修場所：山梨大学教育学部 L号館C棟1階 LC-15教室
- (3) 内容：受講者による実践発表（20分程度）と研究協議
- (4) 持参物：上記課題をA4縦置き、横書きで両面印刷し、受講人数+2部を持参してください。（8部ほどあれば良いかもしれません。昨年度は5名でした）